横田基地 航空自衛隊員と救難能力を強化

Yokota, JASDF Airmen strengthen air rescue capabilities

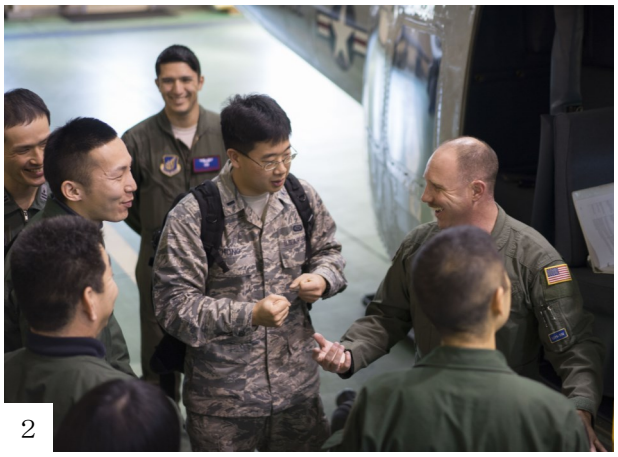
February 12, 2016

Original text by Airman 1st Class Delano Scott
374th Airlift Wing Public Affairs

横田基地第459空輸中隊は、2月9日、航空自衛隊小松基地の隊員を招き、会議を通じて航空救難任務における互いの経験や知識を共有した。

1

（写真1）航空自衛隊小松救難隊が所有する航空機とその能力について話をする隊長 影浦 浩 2等空佐。影浦2佐は、実際の任務で培った内容に触れると共に、航空自衛隊で救難・救助の任務に使用されるさまざまな航空機について語った。



2

（写真2）第459空輸中隊所属UH－1Nヒューイの運用力について、航空自衛隊救難隊員に説明する横田基地の空兵。

3

（写真3）暗視ゴーグルの実演で、実際に器具の使い方を試す航空自衛隊小松基地小松救難隊長 影浦 浩 2等空佐。横田基地第459空輸中隊が主催したこの会議は、米軍と自衛隊の隊員同士がそれぞれに使用している航空機や救難・救助の任務方法の共通点や違いを学ぶ機会となった。